

## 平成30年度第3回ふるさと母里運営推進会議 議事録

- 1、実施月日 平成30年10月17日(水) 14:00～15:00
- 2、場所 会議室
- 3、事務所職員 代表者:柴田 管理者:永田 主任:松浦
- 4、30年度 運営推進委員 自己紹介(順不同)

- ・ご利用者 1名
- ・地域住民の代表者 2名
- ・有識者 2名
- ・行政職員 2名

- 5、施設の運営状況報告 ※資料あり
- 7、質疑応答
- 8、つむぎ(小規模多機能)の外部評価について ※資料あり
- 9、次回開催日について(案) 12月12日 12:00～(昼食用意)

### 会議録

議題に沿って管理者より資料の説明、5周年記念式典開催の報告あり、その後質疑応答に入った。

(有識者) 今年はお米を植えてもらったが稲刈りはこちらでしました。今回はきぬむすめを植えたが、来年はもち米を植えた方が餅つきまでを企画出来ていいのではないですか。今回こちらで稲刈りをしましたが、来年は稲刈りもしていただきたい。また来年もち米でやりましょう。

夏はとても暑くて私は熱中症になりましたが、ここはどうでしたか？

(管理者)GHでは点滴する方がありましたが、緊急搬送するまでの人はなかったです。小規模ではご利用者宅への訪問を増やしたりして体調管理に気を付けるように対応を夏向けに変更しました。

(行政職員)どのような状況で熱中症になられたんですか？

(有識者)へりで消毒をしていたら、なんだか気分が悪いような感じがしてそのまま村上医院で診てもらいました。気をつけていたつもりだったんですけど。

(地域住民)GHでの事故防止への取り組みに対しては改善とありますが、具体的に何をしましたか？

(管理者)夜間帯の鍵の設置や、転ばないようにリビングの環境を変えたりしています。

(行政職員)センサーマットをつけられたと聞きましたが良い結果はでましたか？

(管理者)睡眠状態を観察することが出来るので。集計はしていませんが、設置してよかったと言う意見は聞いています。

(有識者)では、センサーを付けたことで、事故やひやりが少なくなっているんですか？

(管理者)センサーの反応が遅く、行ってみたらすでに転ばれていたということもありましたが、概ね事前に防げています。

(有識者)睡眠時間の集計も出来るんですね？

(管理者)病院にかかる時、データとして持っていくことができます。これはまだこれからですが、データをみて病気に気づくことができることもあると聞いています。

(地域住民)転倒、転落とありますが、転落は大きなことだと思いますが。

(管理者)ベッドから滑り落ちたということで、転落という表現をしています。

(地域住民)そういうことなら、そこまで大きなことではないですね

(行政職員)外傷はどういったことですか？

(管理者)背中表皮剥離がありました。

(有識者)薬の飲み忘れとは？

(管理者)職員が、自立されている方の服薬に関して声掛けや確認が出来ていなかったり、あとは小規模は通いの方が多く、日によって対応が変わるがフォローに職員が入ったときに飲ませ忘れがありました。病院ではそのようなことはないですか？

(有識者)配薬の時の本人確認をしっかりと、飲ませた飲ませなかったの確認などは時間を空けずにしていくなどしています。手バンドの確認、ダブルチェックも配薬した職員、飲ませた職員で徹底しています。

(代表)将来、顔認証が出てくるよね。

(有識者)手にバンドをつけて飲んだらはずすというのもいいのでは？

(管理者)つけて下さる方ばかりではなかったり、手間がいらしますがそういった違う視点の案を出して欲しいです。

(有識者)目印を二つしたらいけないですか？目印をつけて、つけてはずすこと

で確認できたら。

(有識者) 内服の袋の確認はどうしていますか？カラを置いておくとかケースを使うとかするのいいのかも。ケースを使うこととかはできませんか？

(管理者)それはできると思います。

(有識者)習慣をつけていくことが大事だと思います。

(管理者)弘鶴橋から崩落した避難行動状況で情報が出ましたが、その時は夜間の移動は危険だと判断し避難しませんでした。

そのあと、災害対策本部と警察の方が避難を勧めてこられ、消防もマイクロバスを出してくださるとのことで職員に連絡しました。実際は雨脚が弱くなったので避難まではしませんでした。

これからは消防と警察の指示で避難するということになりました。しかし体育館は避難場所としては難しいと思います。できれば庁舎かわかさ会館を指定して欲しいです。

(有識者) 今回は交流センターで椅子に座っていたが、年寄さんにはきついと思う。途中でわかさ会館を開けてもらったが交流センターを避難場所にするのはダメだと思う。よくない。横になる対応が出来るようにしてない。交流センターは避難場所として役目をしてない。座布団もない体育館にこの人〈ご利用者〉が行くとどうなるかと心配だね。

(地域住民)交流センターは各地にあるが、和室があるところもある。長期になれば段ボールなど設置するが、実質市の職員に言っていないと母里は避難するところがない。

(代表)原台地区はどうでしたか？

(有識者)4組がわかさ会館に避難されました。今回桜の木が流れた、もう少し雨が続けていたらあれは切れるところでした。

(地域住民)土手のところがゆるくカーブになって掘れてましたね。

(代表)あれはどこの管轄？

(有識者)県ですね。

(地域住民)庁舎の2階に上がるのに、車椅子は厳しいですよ。エレベーターしかないから。

(代表)土木に頼まないとだめだ。土手のところをなんとか直してもらわないと。

(管理者)伯寿の郷に避難すればという案がありますが。

(有識者)安田もあぶないよ。移動の途中の道がきついでしょ。上の土手を通るのも危ないと思いますよ。

(行政職員)無理だねえ。安田の方も水がきていたからね。伯寿の郷のそばの為国さんや佐々木さんのところも前に浸かったことがあるでしょう。

(地域住民)ここに〈ふるさと母里〉にいた方が安心ですよ。横の山が守ってく

れてる。

(行政職員)移動する方があぶない。伯寿の郷にいくなら医師会病院のほうがいいでしょう。

(地域住民)移動する時間帯も気にしないといけないね

(有識者)集まる方も怖いです。以前、地震で交流センターに寝たことがありましたが、あれはきびしかった。安心できる場所がほしい。

(代表)何回も続いているから根本的に直してもらわないと。

(有識者)東側が氾濫したら道路側が高くなっていて田んぼでカバーができる作りになってはいます。

### 管理者より外部評価の説明

- ・ 11 月末から 12 月初旬でスタッフに自己内部評価する。
- ・ 内容を役員に郵送、評価していただく。
- ・ 書式の内容についてわからない事があれば次回 12 月の運営推進会議にて質問していただき評価。
- ・ 回収後、総括表にして再度郵送し了承を得たのち市に返送する。

12 月、2 月の会議は小規模多機能の評価を中心に実施

次回は 12 月 12 日 (水) 12 : 00 ~ 昼食あり